
公益社団法人日本交通政策研究会

道路インフラ・ファイナンスとレベニュー債

シンポジウム

平成 26 年 8 月

このたび、公益社団法人日本交通政策研究会では、下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

1. 開催趣旨

わが国の交通、とりわけ道路の領域では、長い間「ファイナンス」よりもむしろ「資金調達」のあり方に焦点をあてることが一般的でした。民間事業者がインフラ整備とその「ファイナンス」を主導的に手がけた鉄道と異なり、道路や空港などでは、公的主体による「資金調達」をしていたためです。この「資金調達」は、受益者負担原則にもとづく特別会計制度から整備（建設、維持管理・更新）のために行われ、民間での実施が容易ではない準公共財的な交通インフラ施設が建設されました。その反面、資源配分の効率性の見地からは、建設、運営のいずれも必ずしも十分とはいえませんでした。いうまでもなく特別会計制度は、長期的な視点からネットワークを形成するという点で大きな役割を果たしています。しかしその一方で、財政制約とプロジェクトごとに資金を調達するプロジェクト・ファイナンスの考え方が浸透し、路線や空港別の収支が注目され、同時にインフラの老朽化にともなう維持管理という社会的な要請も増えてきています。そうであるならば、現在の枠組みのもとで、資金は適切に調達されているのでしょうか……

このような問題意識を背景として、今般、本研究会では、『交通インフラ・ファイナンス』加藤・手塚（編著）を刊行しました。このシンポジウムでは、本書の内容を踏まえて「ファイナンス」の側面からインフラの整備・運営における資金調達のあり方について検討します。とりわけ、本書の中心部分を占める債券発行やレベニュー債に焦点をあて債券のしくみや特徴を説明し、海外事例を交え、わが国の交通インフラ政策への含意を得るためシンポジウムを開催します。

2. 開催日時 平成 26 年 10 月 21 日（火）13:00~16:00

3. 開催場所 都市センターホテル（日本都市センター会館内） 6F 606 号室

東京都千代田区平河町2-4-1 TEL: 03-3265-8211

アクセス：有楽町線 [麴町駅] 1 番出口（半蔵門方面出口）より徒歩約 4 分
有楽町線・半蔵門線「永田町駅」4 番・5 番出口より徒歩約 4 分
南北線「永田町駅」9 番出口より徒歩約 3 分
丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」より徒歩約 8 分
JR「四谷駅」麴町口より徒歩 14 分

4. 主 催 公益社団法人日本交通政策研究会

5. 参加費 無料

6. お申し込み

会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、当研究会ホームページ (<http://www.nikkoken.or.jp/>) から 10月15日までに申し込みください。

*定員に達しましたら、締め切らせて頂きます。

7. プログラム

	総合司会 手塚広一郎氏 (日本大学経済学部教授)
13:00~13:20	開会挨拶 根本 敏則氏 (日交研常務理事・一橋大学大学院教授)
13:20~13:40	基調報告1 道路空港セクターにおけるS&Pの信用力分析の枠組みと海外事例 柴田宏樹氏 (スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社 金融・事業法人及び公的部門格付部)
13:40~14:00	基調報告2 日本の道路事業におけるレベニュー債導入の検討 後藤孝夫氏 (近畿大学経営学部准教授)
14:00~14:20	基調報告3 有料道路債と空港債の格付け基準の考え方 加藤一誠氏 (日本大学経済学部教授)
14:20~14:30	休憩 (10分間)
14:30~16:00	フロアを交えた討議 “わが国の交通インフラ政策へ向けて” コーディネータ 加藤一誠氏 (前出) パネリスト 吉田雄一朗氏 (広島大学大学院国際協力研究科教授) 手塚広一郎氏 (前出) 後藤孝夫氏 (前出) 柴田宏樹氏 (前出)

- * 話題提供者との質疑応答を予定しております。
- * プログラムは予告なく変更される場合があります。

お問い合わせ先 公益社団法人日本交通政策研究会 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-6 守住ビル 4階 TEL : 03-3263-1945 E-mail : event@nikkoken.or.jp FAX : 03-3234-4593 Website : http://www.nikkoken.or.jp/
--